

ふれあい

Contents

- 02 赤い羽根共同募金
- 03 社会福祉大会のお知らせ、福祉教育教材寄贈報告
- 04 地区社協活動紹介、役員研修報告
- 05 傾聴ボランティア講座募集、ボランティアセンター
- 06 地区サロン活動紹介、社協クイズ、諸行事日程
- 07 障害福祉相談室「きらり」、在宅福祉事業
- 08 寄附者名簿

社協だより
2022年9月号
No.105



～支え合い 未来につなげる おくり物～

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします



赤い羽根共同募金は、「じぶんの町をよくするしくみ」というキャッチフレーズのとおり、令和3年度に柳川市で集められた一般募金(12,647,573円)の約80%が令和4年度に柳川市に配分され、身近な福祉活動に役立てられます。

地域の福祉に…	8,184,674 円
障害児・者の福祉に…	461,830 円
高齢者の福祉に…	1,365,792 円
児童・青少年の福祉に…	207,204 円

配分金を活用した事業の一部

地域を良くするための活動の貴重な財源となっています。



よりあい活動支援講座



親子でボランティア講座



市民福祉講座



高齢者のつどい



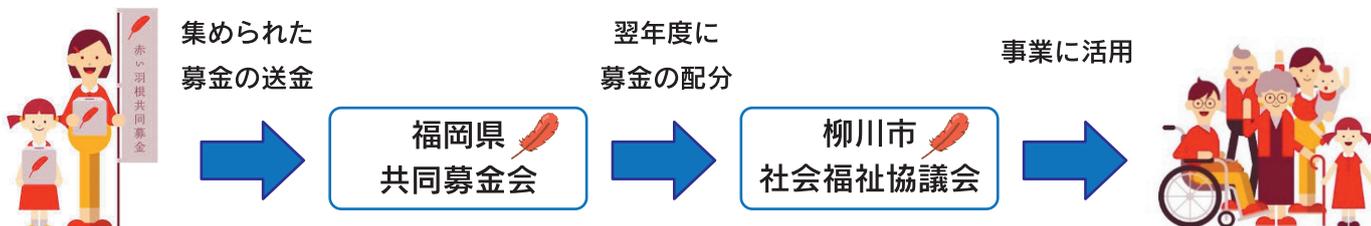
福祉体験学習



福祉車両の貸出

赤い羽根データベース「はねっと」では、共同募金の使いみちを、全国の市町村ごとに一つひとつ紹介する取り組みが行われています。じぶんの町で共同募金がどのように活かされているか、是非ご覧ください。

募金のながれ





第16回 柳川市社会福祉大会

入場
無料

日時

令和4年10月15日(土)

13:00~16:00 (開場 12:30)

入場は無料ですが、参加券が必要になります。

9月1日(木)から下記事務局で参加券を配布します。

会場

柳川市民文化会館

「水都やながわ」大ホール

プログラム

13:00~オープニング行事

13:30~式典、顕彰、大会宣言など

14:20~記念講演

誰も排除しない「まぜこぜの社会」をめざして

東 ちづるさん(俳優)

- ・当日は、手話通訳・要約筆記があります。
- ・市内の障がい者団体や施設等の出店販売(手作り工芸品・お菓子など)もあります。
- ・悪天候や災害、コロナウイルス感染症の状況により大会を中止する場合は、本会のHPにてお知らせします。

【主催】社会福祉法人柳川市社会福祉協議会／柳川市社会福祉大会実行委員会

【事務局】本所(☎72-5347)、大和支所(☎76-4833)、三橋支所(☎73-6955)

東ちづるさんプロフィール

ドラマから情報番組のコメンテーター、司会、講演、出版など幅広く活躍。プライベートでは、骨髓バンクやドイツ平和村、障がい者アート等のボランティアを30年間続けている。

2012年10月、アートや音楽、映像、舞台等を通じて、誰も排除しない、自分らしく生きられる「まぜこぜの社会」をめざす一般社団法人「Get in touch」を設立し、代表として活動中。

「東京2020 NIPPON フェスティバル」にて構成・演出・総合指揮をした公式映像「MAZEKOZE アイランドツアー」が配信中。



思いやりの気持ちを持つっ！

「福祉教育教材『ともに生きる』を寄贈」

7月4日(月)、市社協の大坪正明会長、中川辰藏副会長、白石小夜子副会長が柳川市役所三橋庁舎を訪れ、沖教教育長に市内小学校と柳河特別支援学校で活用いただく福祉教育教材『ともに生きる』676冊を寄贈しました。

この事業は、市内の小学校3～5年生のうち1学年を対象に配布し、福祉教育の推進を図るもので、毎年この時期に実施しています。

昨年度活用した児童からは、「当たり前だと思っていたことは、本当はありがたいことだと気づいた」「たくさんの人に支えられて生活していることがわかった」などの感想が寄せられました。

子供たちが福祉について学ぶ際の事前学習やふりかえりの教材として『ともに生きる』を活用いただければ幸いです。



▲福祉教育教材贈呈式の様子

見守り・支え合う地域にするために

～中島地区で見守りマップづくり開催～

中島地区社協（黒田忠記会長）では、6月27日（月）、柳川市大和漁村センターで総会及び研修会を開催され、地域の福祉関係者約40人が参加されました。

総会後に行われた研修会では、「見守りマップづくり」に取り組み、行政区ごとの住宅地図を使って、「地域のどこに支援が必要な方や気になる方がいらっしやるか」、また、「日常的にどのような人が支援や見守りに関わっているのか」を確認されました。

今回の「見守りマップづくり」は、2回シリーズの1回目で、次回は、マップづくりを通して見えてきた地域課題を整理し、今後の見守り体制や地域に必要な仕組みづくり等について協議される予定です。



▲見守りマップづくりの様子

災害から命を守るために

～二ツ河地区で防災研修～



▲防災研修会の様子

7月13日（水）、二ツ河コミュニティセンターにおいて、二ツ河地区社協（中原廣義会長）主催の防災研修会が開催されました。

中原会長の「経験と知識を活かして命を守り、地域で減災に取り組んでいこう」との挨拶の後、柳川市役所総務課安全安心係から防災をテーマとした講義が行われました。

講義では、近年の災害の発生状況や自主防災組織の必要性、災害発生時の情報収集、避難時の情報共有の重要性について説明がありました。

二ツ河地区社協では、防災をテーマとした研修を定期的実施し、災害に備えた地域関係者の情報共有を推進されています。

9月は「防災月間」となっています。日頃から防災への意識を高め、災害時に円滑に避難出来るよう、備えておくことが重要です。

社協を取り巻く動向を学ぶ

～3市1町合同研修会に参加～

7月21日（木）、まいピア高田（みやま市）にて柳川市、大川市、大木町及びみやま市の社協の役員及び評議員による合同研修会が開催されました。

研修会では、県社協の茶木部長を講師に招き、社会福祉協議会の使命や役割、役員及び評議員の役割、地域共生社会の実現に向けた社協を取り巻く動向についてお話がありました。

ここ数年は、コロナの影響により、研修会等の中止やオンラインでの開催が主流となりましたが、感染対策を講じた対面での研修会となりました。感染者数が増加傾向にある今、まだまだ油断ならない状況ではありますが、役員をはじめ職員一同が、よりよい柳川のまちを目指して、地域づくりに邁進したいと思っています。



▲研修会の様子

上手な聴き方・

傾聴の基礎

傾聴ボランティア講座受講者募集

傾聴は、職場や家庭、介護、ボランティア活動など、さまざまな場面で役立つコミュニケーション方法の一つです。

「聴くことの意味」や「聴き方」について学ぶとともに、ロールプレイングを通じて、「傾聴ボランティア活動」について学んでみませんか？

【とき】 10月5日、10月12日、10月19日、

10月26日、11月2日、11月9日、

11月16日(水曜日)、全7回

午後1時30分～3時30分

【ところ】 柳川総合保健福祉センター「水の郷」

【対象】 市内在住で傾聴ボランティア活動に関心がある方。全日程参加できる方。

【講師】 宮崎由紀子さん(再評価カウンセリング
ティーチャー)

【参加費】 無料

【定員】 15人程度(先着順)

【申込み】 9月30日(金)まで

市社協本所 72-5347



ボランティアセンター

TEL 75-6206 ♥ FAX 72-5346 ♥ E-mail volunteer-40207@song.ocn.ne.jp

市ボランティア連絡協議会

第12回総会で記念講演

6月21日(火)、市ボランティア連絡協議会(森田精子会長)の総会が開催されました。一堂に会しての総会は3年ぶりでしたが、約40人の会員が参加しました。

記念講演では、作業療法士の田中重徳さん(柳川市)を講師に迎え、介護保険制度や健康寿命を延ばすための方法などの話の後、田中さんのギターに合わせて、懐かしい歌(3曲)を歌いました。

「楽しかった。」「久しぶりに歌って、元気がでた。」と話される皆さんの元気な表情が印象的でした。

(株)ダイナム

わいわい食堂にお茶などを寄贈



6月18日(土)、株式会社ダイナム様からわいわい食堂にお茶や手袋など全86点が寄贈されました。

経営企画部地域共生担当の寺門さんは、今年5月からスタッフとして参加され、この日は社員の仲村さん、福嶋さんも参加されました。

森田会長は、「食事を楽しむに來られる方のために、ありがたく使わせていただきます。」と話されました。

田中講師による シナプソロジー



声に合わせてグーパーチェンジ。
「できなくても大丈夫。みんなできていません。」
田中さんの言葉に、笑い声が響きます。

～講演会のお知らせ～

抗がん剤治療患者さんに手作りのタオル帽子を贈る活動をしている「柳川タオル帽子の会」が、多くの方にこの活動を知ってもらおうと講演会を開催します。参加は無料です。

タオル帽子に興味のある方の参加をお待ちしています。

【日時】 10月22日(土) 13:30～

【場所】 藤吉コミュニティセンター

【講師】 「あいう笑^えがお」

代表 末次 由美さん

【定員】 50人

【問い合わせ】 ボランティアセンター



▲久々原地区の様子

トボール』を皆さんで楽しみながら体験していただきました。今後の地域よりあい活動のレクリエーションの一部として活用いただければと思います。なお、久々原楽楽クラブでは、同地区にお住まいの方を対象に、月に1回よりあい活動を実施されています。

市社協では、地域のよりあい活動などで活用いただける遊具の貸し出しを行っています。お気軽にお問合せ下さい。

市社協地域福祉係(7215347)

7月12日(火)、

久々原行政区の久々原楽楽クラブにおいて、市社協で貸し出しをしている遊具の使用方法等についての説明会を開催し、11名の方が参加されました。

説明会では、点数制を取り入れた『輪投げ』や『スカッ



社協クイズ



穴埋めクイズ!

1~4に入る文字を並べ替える」とある言葉になります。並べ替えてできた言葉をお答えください!

①ランティア

エンゼル③ポーター

か④ごほけん

きよ②ど②①きん



9月は〇〇月間です。本誌のどこかに答えの文字が登場しています。

正解者の中から抽選で3名様に粗品を贈呈します。応募資格は市内在住の方です。1家族1人まで!!
令和4年9月15日必着!!
前回の答え: 献血(かな、カナ、漢字は問わない)

POST CARD

□□□□□□

【応募宛先】
〒832-0058
柳川市上宮永町
6-3
社会福祉協議会
社協クイズ係

【応募方法】
ハガキに
1. クイズの答え
2. 氏名(ふりがな)
3. 住所
4. 性別・年齢
5. 感想(任意)
をご記入のうえ郵送してください。

HPからも応募可能です!



HP: <https://yanagawa-shakyo.or.jp/quiz/>

諸行事日程のお知らせ

心配ごと相談日程

司法書士・民生委員が相談に応じます!

- 日 時 第1・3木曜日 13:00~16:00
- 相 談 無料
- 場 所 柳川総合保健福祉センター「水の郷」
- 問合せ TEL 72-5347

実施月	実施日
9月	1日、15日
10月	6日、20日
11月	17日



柳川市献血実施予定日

柳川市献血推進協議会では下記の日程で献血を実施します。



実施日	曜日	会 場
10月21日	金	JA 柳川本所
11月2日	水	マミーズ柳川店
11月8日	火	蒲池農村環境改善センター

- 時 間 10:00~12:00 / 13:00~15:30
11/2のみ 10:00~12:30 / 13:30~15:30
- 年 齢 基 準 男性:17歳~69歳 女性:18歳~69歳
※65歳~69歳の方は、60~64歳までに献血の経験がある方に限る

障害福祉相談室きらり

柳川市大和町栄234 大和総合保健福祉センター「まほろばやまこ」内
TEL 76・4411 FAX 76・4413 営業日：月～金曜日 9時～17時



【シリーズ】「日々生活する中で思うこと」

市内に住む障がい当事者の方が、日々のようなことを感じているのか取材しました。生の声を聴くことで、柳川市に必要なものを考えるきっかけになればと考えています。



60代男性の挑戦

「施設から一人暮らしへ」

身体障害者手帳2級・
精神保健福祉手帳2級所持

自宅で一人暮らしをしていた時、これから先一人で生活することに不安を感じていました。そんなとき、「入所を考えていた施設が所在する地域は、お米が美味しい」とテレビで知り、『施設で24時間の介護を受けながら、美味しい物を食べて過ごすことで長生きできるのではないか。みなさんと話をして楽しく生活できるのではないか。』と思い、障がい者施設に入りました。

施設の支援者は良い方ばかりで、演劇を見る機会もあり楽しかったです。施設に入る前に体験していたのですが、実際に施設で生活してみると、自分のペースで過ごすことが難しく、みなさんとお話をする機会が少なく、イメージと違っ

ていました。このまま施設で過ごすよりも、静かな環境で自分のペースで過ごす方が自分に合うと分かり、金銭面の不安はあったものの、一人暮らしをすることを選びました。

一人暮らしを始めて、自宅に友人を招き、久しぶりに会えたことで、自分が思う友人との付き合い方を見つけることができました。これからは、大好きな映画にも行きたいです。ありがたい事に、色々な方に支援して頂きながら、自己実現することができ、幸せです。



笑って免疫力アップ

季節の変わり目は、免疫力が低下しやすい時期。新型コロナウイルスの影響で、自宅で過ごす時間が長くなり、人と会う機会が減少していませんか？

笑いがもたらす嬉しい効果

- ◎脳の働きが活性化
脳への酸素供給量が増え、集中力や記憶力と
いった脳の働きが活発となります。
- ◎血圧が安定する
笑うことで血管が拡張され、血圧を下げる効果
があります。
- ◎自立神経のバランスが整う
副交感神経が優位になり、心と体が安定します。
- ◎誤えん性肺炎の予防
笑うことで唾液の分泌量が増加し、感染症に強
くなります。
- ◎腹筋・横かく膜・肋間筋・表情筋などの筋肉の刺激
複式呼吸をすることで、内臓の動きが活発となり、
筋力維持の効果があります。

大切なことは、「笑う」という動作をすること。作り笑いでも効果があるそうです。大変な時だからこそ、笑って健やかに暮らしましょう。



在宅福祉係

柳川市三橋町正行476 三橋総合保健福祉センター「サンブリッジ」内
TEL 74-3101 FAX 73-6961



ご寄附御礼

社会福祉事業のために次の方々から
ご寄附をいただきました。厚く御礼
申し上げます。

(令和4年5月16日)

令和4年7月15日

香典返し寄附

【令和4年5月16日〜5月31日】

本町 緒方 栄子(故緒方 俊美)
江曲 袖崎 文子(故袖崎 利二)
棚町 宇田 利広(故宇田フサ子)
皿垣開 高口 博光(故高口フサ子)
南浜武 荒巻マサヨ(故荒巻 義次)

【令和4年6月1日〜6月30日】

吉富町 山田 利廣(故山田キヨカ)
東蒲池 稗田 浩紀(故稗田 修三)
大浜町 古賀 悦子(故古賀 嘉忠)
西蒲池 大淵 健悟(故大淵 勝子)
明野 諸藤 哲男(故諸藤スイ子)
高島 島松 勝幸(故島松 典子)
上宮永町 北島 征子(故北島 武志)
中町 藤木 芳子(故藤木 秀男)
上宮永町 大坪 俊幸(故大坪エイ子)
弥四郎町 宮崎 敬子(故宮崎 稔)
豊原 田島 庄悟(故田島チサ子)

徳益 吉開 弘幸(故吉開ゆり子)
東蒲池 江崎 裕(故江崎 ミエ)
東魚屋町 石橋キヌヨ(故石橋 忠夫)
中島 堤 修(故堤 ツヤ子)
鷹ノ尾 砥上 保雄(故砥上ハツノ)
中島 成清 貴浩(故成清 初喜)
中島 西田 忠清(故西田 文代)
中島 松藤 良孝(故松藤カズヨ)
中島 古野千恵美(故平河チヨ子)
正行 三小田 修(故三小田美代子)
玉名市 村岡富士子(故古賀満千穂)
正行 古賀 義光(故古賀フミ子)

【令和4年7月1日〜7月15日】

佃町 山田 和也(故山田 定雄)
垂見 稲又 末雄(故稲又アイ子)
豊原 古賀 和昭(故古賀 博美)
蒲生 徳永 昌典(故徳永トシコ)
大浜町 横山 文代(故横山 滋)
起田 野田 勝治(故野田あつ子)
塩塚 平田チカ子(故平田 篤司)
鷹ノ尾 武藤 利徳(故武藤アツ子)
栄 前間 照子(故塩塚モモヨ)
中島 田中 徳治(故田中 努)

※順不同、敬称略

※寄附者のご了承を得て記載しております。

なお、寄附者は、柳川市社会福祉協議会へ寄
附された方を記載しており、地区社会福祉協
議会へ寄附された方は含まれておりません。

心温まる寄贈、感謝いたします

棚町 藤木久光様から地域食堂や困窮者への
食糧支援に、6月17日にお米50kg、7月15日
にお米55kgを寄贈いただきました。本会が行
う事業の中で大切に活用させていただきます。



5kg入りのお米を21袋
いただきました。



5/21 わいわい食堂
「おいしい」と大変
好評です。ありがとう
ございました。

今月の表紙

6月23日(木)、中島
小学校3年生21名を
対象に福祉体験学
習が行われました。
アイマスクや車いす、
難聴体験を行い、自
分たちが普段の生活
で当たり前に行っていることでも、当たり前にするのが難
しいということを学習しました。児童たちからは、「目が見え
ない状況で階段を下りることが怖かった」、「困っている人
がいたら助ける」などの声が上がりました。今回の学習を
通して、思いやりと助け合いの心を育むきっかけにしてい
ただければと思います。



あなたの

「おもいやり」を

被災地へ



①熊本県南豪雨義援金募集中
(募集期間 令和4年9月30日(金)まで)
募集場所 市社協の本所又は各支所

発行

※営業日以外に寄附をされたい方は、ご相談ください。



社会福祉 法人 柳川市社会福祉協議会

<https://yanagawa-shakyo.or.jp/>

営業日：月～金(年始年末、祝日を除く)

時間：8:30～17:00

本所

柳川市上宮永町6-3 柳川総合保健福祉センター「水の郷」内
TEL:0944-72-5347 FAX:0944-72-5346 E-mail:yanagawashakyo5347@tea.ocn.ne.jp

大和支所

柳川市大和町栄234 大和総合保健福祉センター「まほろばやまと」内
TEL:0944-76-4833 FAX:0944-76-4832 E-mail:yanagawashakyo4833@soleil.ocn.ne.jp

三橋支所

柳川市三橋町正行476 三橋総合保健福祉センター「サンブリッジ」内
TEL:0944-73-6955 FAX:0944-73-6961 E-mail:yanagawashakyo6955@soleil.ocn.ne.jp



この社協だよりは、共同募金配分金によって作成されたものです。
また誌面中の赤い羽根マークの事業には、共同募金が活用されています。